

Furu

あなたの暮らしに、新しい風

FUKUYA LIFESTYLE MAGAZINE

TAKE
FREE



vol.8

“家をひらく”

わたしらしく暮らし、働くための選択



1.正面にみえる木製ドアがお店の入り口。お店の前には2台分の駐車スペースがある。2.おすすめの商品は、公私共にお付き合いのある作家「かっぱまわり」大原さんがつくる布小物。(写真下)どれもひとつひとつ、手縫いで丁寧につくられた一点ものだという。3.お店の一角には、常連さんのために構えられた小さなお茶スペースも。この日も20年来の常連さんと、楽しく話をはずませていた。

子育ても、仕事も、無理なく自然体で。

暮らしと地続きの小さな雑貨屋さん「PLAT」

今できるかたちを考えつづけてきた

高知市大津にある自宅兼店舗の雑貨屋さん「PLAT」オーナーの吉次さんは、3児の母。自宅兼店舗という営業スタイルは「子育てを軸に、なにを優先するべきか考えるなかで自然とたどり着いた答えだった」と話す。はりまや町から高知市大津にお店を移し、もうすぐ10年。はじめてじぶんのお店を持ってからは23年が経つそうだ。上のお子さんは昨年20歳に。まさにこれまでのお店の歩みは、子育てと共にあったといえる。

ももとは「カフェとインテリア雑貨」のお店としてはじめて「PLAT」は、自宅兼店舗に切り替えたタイミングで物販のみにする選択をした。営業日や営業時間なども、子育ての状況に合わせて“今できるかたち”を考え、少しずつあり方を変化させてきたという。自宅兼店舗になってからは、移動時間もなくて合間で家事ができるなど子育てと仕事のバランスが取りやすくなったと感じているそうだ。子育ても、仕事も、無理なく自然体でいられるスタイル

を保ち続ける吉次さんは、3児の子育て中とは思えないほどに穏やかに映った。

いつも、暮らしに軸足を

店舗奥にある木枠のガラス戸の奥には、リビングにつながる階段がある。夕方になると、お子さんが帰宅する様子がみられた。



階段を上がる音に気づき「おかえり」と声をかける吉次さん。お店を閉めたあとは、習い事の送り迎えや夕飯づくりをこなす。そして、朝はいつも5時に起きてお弁当をつくっているというから驚きだ。さぞ自慢の母親にちがいないとお子さんたちの反応について尋ねると「良くも悪くも、何にも言いませんね。言わないだけで嫌なこともあるんじゃないかな」と心配そうに話

した。今は分からなくても、しっかりと暮らしに軸足をおき、子育ても仕事もこなす逞しい姿や、母親がいつも家にいてくれる安心感は、きっと有難く思う日が来るにちがいない。

淡々と、つづけていきたい

5坪ほどのコンパクトな店内には、洋服とインテリア雑貨が、什器にとどまらず飾り棚や窓枠にまで、空間を上手に使っておしゃれにディスプレイされている。「恥ずかしいけど、ほんとにこれと言ったこだわりはないんです」と謙遜する吉次さんですが、長年お店を続けるなかで確立されたセンスを感じる商品ラインナップに、どれもこれも欲しくなってしまうほどだ。そしてお店の魅力は、商品だけではない。この日



偶然訪れたお客さまは、20年来の常連さん。ふたりは、親友のようになりラクスした会話を楽しんでいた。お店には、常連さんとの会話をたのしむためのお茶スペースも構えられており、お買い物だけでなく、オーナーの吉次さんとの会話を楽しみに訪れるお客さまが多いことが伺える。最後に「これからも、淡々とつづけていきたい」と話してくれた吉次さん。欲を張らず、大切なものを見極めるセンスに長けた吉次さんの暮らしと地続きにあるこのお店には「ここで買いたい」そう思わせる魅力が詰まっていた。

PLAT clothing zakka

高知市大津乙877-5
OPEN / 月・火・木・金 13:30-17:00
水・土 12:00-17:00
CLOSE / 日・祝

※その他臨時休業などは店舗公式X(旧Twitter)をご確認ください。



吉次様邸

家族構成: 家族5人
竣工年: 2014年9月
構造: 木造2階建て
延床面積: 38.5坪

デザインと空間取り心地よ、No.6

テーマ

「しあわせ」をつくる、キッチンのある暮らし

手づくりこだわったやさしい味に定評のあるテイクアウトカフェ「MIOCAFE」。コロナ前は、おうちカフェとして営業していたが、現在はテイクアウトとデリバリーのお店に。家事や子育てと両立しながらの小さな開業は、等身大。食べること、つくることが大好きだという北川さんは、今日もキッチンで「しあわせ」をつくっている。



Point 3

空間を、ゆるやかに分ける

お店の入り口は、増築部分に設置した勝手口。カフェ営業お休み中のいまも、テイクアウトの受け渡し場所として活用している。奥の和室とリビングの間には仕切り扉があるため、お店とプライベートスペースをゆるやかに分けることができている。

Point 1



オープンキッチンはコックピットのように

自宅のキッチン兼、お店の調理場でもある北川さん宅のキッチン。使い勝手よく整えられたコックピットのようなキッチンで、北川さんは手際よく流れるように作業をする。また、清潔を保ちやすいように天板や床の素材にもこだわりが。天板はステンレス、床はタイルを使用している。

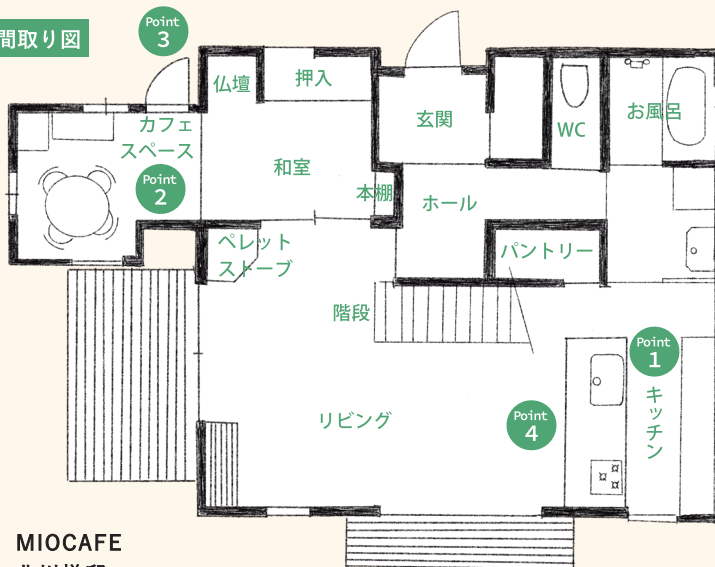
Point 2

設備投資は、必要なぶんだけ

開業のために必要な保健所の検査をクリアするために増築をした土間空間は約2坪とコンパクト。「ひとりで回せる範囲で決めていた」といい、設備投資は必要最低限。カフェ営業をしていた頃は、この土間スペースと和室、テラスの3席をカフェスペースとして使っていたそう。



1階間取り図



MIOCAFE

北川様邸

家族構成 | ご家族3人 / 施工年 | 2013年1月
延床面積 | 32.37坪 / 構造 | 木造二階建て



Point 4

“食”を通じてひとが集う

もともと開業のきっかけとなったのは、北川さん宅で行われていた友人たちとの料理教室。友人のリクエストからレシピを考え、一緒につくって食べるというものだった。コロナ禍で機会が減ってしまったけれど、今でもたまに北川さんの料理を楽しむに、友人たちが集うのだとか。

暮らしのBATON

“自宅で好きな仕事をする”

北川さんの開業までのストーリー
(長編インタビュー)はこちら



のっけ弁当 / 750円
デリバリー対応も可能なので、職場でのお昼ごはんにもおすすめ。

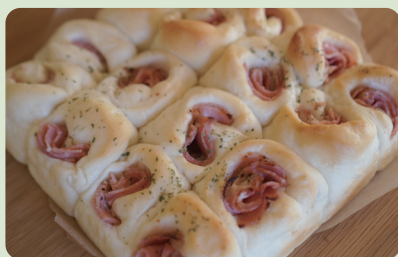
やっぱりほっとする「つくり手の見える料理」

北川さんの自宅のキッチンから生み出される料理はまさに、ほっとするやさしい家庭の味。安心するその味わいには、つくり手である北川さんの穏やかな人柄が表れている。メニューも、お弁当やお惣菜、オードブルなどお客様の暮らしに寄り添うラインナップがうれしい。



チリコンカン(3人前) / 1,260円

お惣菜は、3人前から注文可能。
チリコンカンは、近頃の人気メニュー。



ちぎりパン・ハムマヨ(1セット) / 1,080円

1セットから注文可能。
子どもが喜ぶ、動物型のちぎりパンもある。



テラス席で、ワンちゃんとのカフェが楽しめるCOCAGE Villa FUKUYAでは、ワンちゃん用の食事メニューも。敷地内にドッグランも併設されているため、水と緑に恵まれた自然のなかで、ひとと犬も一緒に、存分におでかけを楽しむことができる。ひと見知りや噛み癖の心配なワンちゃんには、ドッグランの貸し切りなどの対応も可能。これから春に向けて少しずつあたたかくなる季節。ぜひCOCAGE Villa FUKUYAでワンちゃんのおでかけを楽しんで。



COCAGE PHOTO CONTEST

現在、第二回コカゲフォトコンテストを開催中！2024年1月12日(金)～3月4日(月)の期間、ドッグランCOCAGEで撮影したワンちゃんの写真で大募集。入賞作品には、ささやかながらプレゼントをご用意しております。詳しくはInstagramをご覧ください。

MIOCAFE ※現在ランチお休み中。テイクアウトのみ。

ご注文は電話、LINEメッセージ、InstagramDMより注文受けてます。

〒780-0031 高知市宇津野239-1

TEL:090-7572-6476

@miocafe7215

LINEの友だち追加



本社2階社食ランチが食べられるカフェ

CAFE FLAG

@bistrocafe_flag



吾川郡いの町にあるカフェ・ドッグラン

COCAGE Villa FUKUYA

@cocagevillafukuya



Next Issue

2月29日 発行

vol.9

やっぱり、平屋

【発行元】

フクヤ建設株式会社

〒781-0015 高知市薊野西町3-35-29

TEL 088-845-4618

fukuya@fukuya-h.co.jp

@fukuya.kochi